

■同送いただく資料

(以下の資料をチェックしていただき、すべて揃った時点で換気計画をご依頼ください。)

- ☐ 各階平面図……部屋別の面積、天井高さの記載のあるもの
- ☐ 矩計図……小屋裏、床下の通気止めなど、構造がわかるもの
- ☐ 配置図……建物の周囲環境のわかるもの
- ☐ 建築確認申請の際に添付される空間毎の面積、天井高一覧等の換気対象気積がわかる資料

※図面をデータでお送りいただく場合は、jww形式又はdx形式のCADデータでお送りください。
 ※納期の目安は、一般住宅の場合、中2日営業日以降となります。
 ※同一案件の2回目以降の修正のご要望は、有償にて承りますので、弊社担当者までご連絡ください。

■建物情報

物件名・工事名	
物件住所	

■ご依頼元情報

会社名		支店、営業所名	支店／営業所
ご担当者様	様	電話番号	
ご住所		FAX番号	
		e-mail	

■ご返信先

送付先	上記、ご依頼元と同じ	その他・宛先（ご担当者様） ・ FAX ・ e-mail	（様宛）
見積りの宛先	上記、ご依頼元と同じ	その他〈宛先名〉 〈他、記載事項〉	

■その他建物情報

※次世代省エネ地域区分でI地域以北でダクトレスタイプをご検討の場合は、弊社へご相談ください。

換気機種類のご希望	■VLR-70シリーズ (アルミ製熱交換素子)	VLR-70 Eタイプ 構造体貫通部樹脂製パイプ	VLR-70 Tタイプ 構造体貫通部金属製パイプ ※構造体貫通部分を金属製パイプで被覆する事により、壁体内部への火炎の侵入を抑え、耐火性を高める事ができます。	VLR-70 DFタイプ 構造体貫通部金属製パイプ+防火ダンパー付 ※構造体貫通部分を金属製パイプで被覆する事により、壁体内部への火炎の侵入を抑え、耐火性を高める事ができます。
	■LTシリーズ (セラミック製熱交換素子)	LT-50 Smart WiFi操作タイプ	LT-50 Pro リモコン操作タイプ	
換気対象除外部分	収納・物入 ※ダクトレス第一種熱交換タイプは、浴室、洗面室、トイレ等の水廻り空間は全般換気対象から除外となりますので、別途局所換気を設けてください。			
局所換気の提案	不要	必要	※局所換気はトイレを対象としますが、その他設置をご要望の際は下段ご要望欄へ記入してください。	
防火指定	不要	必要	※防火延焼対策が必要な場合の措置として、全ての外壁貫通部に防火ダンパーを計画します。	
換気回数	0.5回/h以上	0.3回/h以上	※換気機の設置が必要となる居室数により、ご希望の換気回数を上回る可能性があります。	
換気機材のお見積り	必要	不要	※記入なし→不要とします。	
追加情報及びご要望	【換気機の台数等計画の方向性にご希望がある場合は以下にご指定ください。】 各居室へ換気機を設置することを優先する 必要換気風量を達成する最少の換気機台数を優先する ※最少の換気機台数で計画する場合は、換気機を設けない居室には、強制通気を行う居室間還気送風機（レタンパスファン）を計画します。 【基礎断熱工法で、 <u>全般換気をVLRシリーズとする場合のみ</u> 】床下通気送風機UFV-60の計画を希望する			

- 本機器はお客様がメンテナンスをしやすい位置への露出設置を提案させていただきます。（換気システムが定期的にメンテナンスをする必要があることからの配慮です）
- 弊社より提供する資料は確認申請時の参考資料ですので、確認申請時の書式は当該地域ごとに定められたものをご使用ください。
- 弊社より提供する資料は参考資料ですので、設計、施工時には建築士・設計者等と十分に確認をとって進めてください。
- 本換気計画は一般住宅(集合住宅を含む)を想定し、弊社推奨のシステム部材を使用する前提となりますので、それ以外の計画は出来かねます。
- 室内と廊下等の換気経路内の建具は、必ずアンダーカット又はガラリを設け空気が流通するようにしてください。
- 浴室とトイレ等の空気汚染のある空間を計画換気対象から除外する場合は、別途局所換気設備を設けてください。
- レンジフード等の局所換気機は必ず同時給排型をご使用いただき、室内が極端な負圧にならないようにしてください。
- ストーブや給湯器等の燃焼機器を室内に設置する際は、当該換気設備の影響を受けないよう必ず密閉型の機器としてください。
- 予告なしに機器の仕様、性能を変更する事が有りますので、ご了承ください。
- 仕様書が必要な場合は換気システムのサポートページよりダウンロードしてください。

【床下通気送風機UFV-60提案ご希望のお客様へ】

- 計画する建物の基礎構造が、「基礎断熱」であることを確認してください。(基礎断熱と確認できない場合は、ご提案出来かねます。)
- 弊社で算定する基礎コンクリートからの蒸散水分量は推測値となり、実際の値とは異なります。
- UFV-60及び、通気ガラリの設置位置は参考提案となりますので、現地の実情を踏まえ、建物設計者が決定してください。
- UFV-60の設置箇所も含め、床面に設置するガラリは、現地手配品となります。